

みなさんの身近な要求を実現させる党議員団

子ども医療費無料化の通院分が小学3年生まで拡充。妊婦検診14回まで助成実現。

利便性向上にと要求していた、市役所土曜日開庁が月2回実現します。

川越市駅のバリアフリー化今年度完成へ。

12月から小規模企業を応援する為、借りやすいセーフティ融資を実施。

2年後に小・中学校の耐震化完了。臭いトイレ等校舎の改修も前進させます。

成人式でポケット労働法を配布。基本的な働く権利と知識の周知を図るよう尽力する

小規模工事登録制度や住宅リフォーム件数では、県内トップクラス。高い経済効果生む

伊佐沼公園のアスレチック遊具がリニューアルされ子ども達に大人気です。

新河岸駅周辺整備に今年15億円予算をつけさせ、用地を確保3割まで前進させました。

国道16号線新宿3丁目交差点の右折レーンと歩行者の待機場所が確保され安全性が向上。



市長へ新年度予算要望を手渡し懇談しました  
市民アンケートにもとづき236項目を提案

# 市民負担増の冷たい市政ではなく暮らしを支えるあったかな市政に

市長は就任後毎議会で値上げ・負担増を提案。他党派も同調するなか、日本共産党は市民の暮らしを支える立場で、積極的な提案をおこない議会の論戦をリードしてきました。以下に、主なものを紹介します。



凡例 ●：負担増に賛成 ○：負担増に反対	日本共産党	啓政会	公明党	プロジェクト川越21	やまぶき同志会	自民クラブ	民主党	市民フォーラム	スピリット50	無所属
都市計画税の増税	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●
下水道料金の値上げ	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●
健康長寿奨励金を廃止	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●
各種手数料の値上げ	○	●	●	●	●	●	※1	●	●	●
在宅の介護者手当廃止	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●
小中学校給食費値上げ	○	●	●	●	●	●	●	●	※2	●

※1. 山木議員は欠席、※2. 須賀議員は欠席

## 12月市議会の経過

11月25日開会に開会した市議会は、市職員の給与削減や要介護者への手当削減、保育料の値上げを含む条例改正、補正予算など提案された31件を可決し、12月17日閉会しました。

### 議員定数削減で活性化なるのか

最終日には、議員7人会派が共同提出で議員定数40人を36人に削減する条例改正を提案。日本共産党議員団4人を含め5人が反対しましたが賛成多数で可決、来年4月の市議会議員選挙から適用されます。提出者は「長引く不況のもと、市議会も痛みを共有し、議員自ら身を削るべきだ」と提案理由を述べました。

### 今こそ議員の資質が問われる時

質疑で削減の根拠をたどりましたが明確な根拠が示されず、市議会の権限や中核市としての独自の事務処理数などを聞いても提出議員は答弁できませんでした。

反対討論では、市民の声に真摯に耳を傾け議員全員が努力することが求められる。財政が問題なら、定数削減に見合う議員歳費を削減すればよい。川越市は中核市であり、県から2500の事務が移されており、単純に他市と比較すべきではない。議員削減は住民の参政権に関わる問題であり、公聴会やアンケートを取るなどして市民とともに考えることが必要。今回の提案は議論が尽くされておらず、幅広い声を聞けなくするものと指摘しました。この議案の質疑は日本共産党議員団のみで、今後市議会の活性化が求められます。

### 介護者への手当まで廃止

重度の要介護高齢者を在宅で介護する介護者手当の廃止も市民には大きな痛手です。日本共産党は、家族などへの介護者の精神的・経済的苦労を思えば廃止は許されません。要介護高齢者への手当を半分に引き上げ介護者に支給することができると指摘し反対しました。

日本共産党は、市長提案の31議案のうち、在宅介護の介護者手当廃止議案、保育料の値上げ議案、一般職の手当削減議案など9議案について反対、22議案に賛成しました。

また、その他の議会改革に関する議員提出議案は、全会一致で可決しました。